

お手頃の価格の薬で、人々の健康を支える

SDGsラジオを讀んでみよう！

風邪をひいたら、病院に行ったり、薬を飲んだりしますよね？

一方で世界では、病院に行けない、薬も飲めない子どもたちがたくさんいて、また日本でも、病院に行くのが難しかったり、薬を買う余裕がないことから、身体(からだ)がつかなくてもガマンしてしまう人がたくさんいます。

そこで、全国で薬局を運営している日本調剤は、「5COINS PHARMA(ファイブコインズファルマ)」という、税込み550円均一の薬を作って販売しています。

一般的な薬よりも安く手に入って、軽い症状だったら、病院に行かずに、自分で手当てできるようになります。

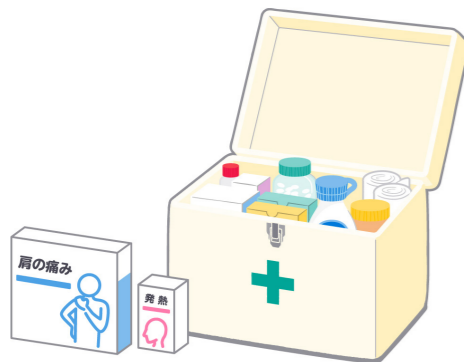
熱を下げる薬や胃腸薬をはじめとした、毎日の暮らしの中で使うことの多い、20品目以上がそろっています。

お手頃価格の薬が、より多くの人の健康を支える。

世界中の薬、日本の薬が今、どのぐらいの価格になっているのか？ぜひ、調べてみてください。

社会のいろんなことに関心を持つのも、SDGsの達成に向けての立派な行動のひとつです。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



風邪をひいたり、ケガをしたら「病院で診てもらい、治してもらう」というのがこれまでの考え方でしたが、最近では「セルフメディケーション」という新しい考え方が注目されています。世界保健機関(WHO)によれば、セルフメディケーションとは「自分の健康に気をつけて、軽い病気やケガは自分で治すこと」です。そして、セルフメディケーションには、軽い病気やケガを治すだけでなく、普段から自分の健康状態をチェックすることも含まれます。自分で健康を管理して、病気になることを防ぐセルフメディケーションは、国民全体の医療費を減らすことにもつながると期待されています。

画像参照：「セルフメディケーション」イメージ画像(日本調剤公式HPより)



画像参照：「5COINS PHARMA」の医薬品(日本調剤公式HPより)

そこで、全国で薬局を運営している日本調剤では、セルフメディケーションを応援するため、風邪薬や胃腸薬、口内炎や生理痛の緩和など毎日の暮らしの中でよく使われる薬、20品目以上を「5COINS PHARMA(ファイブコインズファルマ)」という商品名で、税込み550円均一のお手頃な価格で販売しています。また、日本調剤の薬局では、薬剤師が患者さんの症状に適した薬を提案したり、患者さんからお聞きした症状から、「ご自身で治療するよりも医師の診察を受けたほうが良い」と判断した場合に、適切な病院を紹介するなど、セルフメディケーションを裏から支える役割も果たしています。

キーワード

世界保健機関(WHO)

世界中のすべての人々が健康になれるように取り組む、国連の専門機関のひとつで、スイスのジュネーブに本部があります。

医療費

病気やケガをしたときに、医師に診てもらったり、薬を買ったりするために必要なお金のことです。

薬剤師

病院や薬局で、患者さんに薬を渡したり、飲み方の説明などをすることができる資格を持った人たちのことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

セルフメディケーションについて理解し、みんなで話し合ってみましょう。

おさらい

- セルフメディケーションは、自分の健康を自分自身で管理する考え方のこと。
- 日本調剤では、セルフメディケーションの助けとなる薬「5COINS PHARMA」を販売している。
- 患者さんの症状によっては、薬剤師が受診を勧めることで、セルフメディケーションを裏から支えている。

メモ



SDGs ラジオ